

令和5年度「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」活動報告（概要）

【自然探訪教室】

-「宮代の桜(八重桜)を訪ねて」-

4月17日(月)

地域住民11名

恒例の地域住民を対象の「自然探訪教室」で、今年は宮代の八重桜を訪ねることとしました。

宮代地区に多くの桜があり今年は八重桜が盛りになったので、それぞれの地域の八重桜を探しました。

吉葛神社から市場の八重桜を訪ね、その後は朝倉公園の八重桜を堪能し、最後は南宮大社の八重桜を訪ね満開の桜を堪能しました。



【歴史研修会】特別講話

-「宮代の神々について」-

5月22日(月)

講師 南宮大社権禰宜

会員 39名

今年の定期総会後の「特別講話」は、講師に南宮大社荒井権禰宜をお招きし「宮代の神々」について講話を受けました。

宮代地区には、各地域にそれぞれ氏神様があり地域でお世話をしているが、その詳細はよく理解できていないので、祀られている神様と経緯・その目的などについて解説頂いた。



【自然観察教室 (千之子ども教室)】

-モリアオガエル(天然記念物)の観察-

6月15日(木)

宮代小学校4年生 24名

恒例の「千之子ども教室(自然観察会)」で、朝倉公園のビオトープ池を訪れモリアオガエルの”たまご”を探しました。

モリアオガエルは繁殖期になると、池畔に張り出した灌木樹枝上に点々と白色泡袋状の卵塊を産み付け、孵化後は直接水中に落ちて変態する修正を持ち、垂井町宮代はその群生地として岐阜県の天然記念物に指定されています。

池では数個の卵塊を見つけました。講師の廣岡会長からは、モリアオガエルは山から自分の生まれた池に来て産卵することや、その様子(写真)や孵化後のオタマジャクシの生体、そしてイモリとの関係を勉強しました。



【歴史文化教室】

-南宮山登山大会-

8月11日(金)

参加者80名

宮代地区恒例の、お盆の南宮山登山大会(まちづくり協議会)が開催されました。

今年は、南宮山にある陣跡史跡を参加者の皆さんに知って頂こうと「関ヶ原合戦の陣跡」のパンプを作成して、展望台の毛利秀元陣跡で講師から解説をしました。

地区内の小学生や保護者・高齢者ら80名が参加約400年前の戦乱の状況に思いを馳せました。



【歴史文化教室】

-「たるい竹あかり 2023」に参加-

8月26日(土)

参加者 約5000人

『垂井町の魅力ある場所を、いつもと違う空間にすることで垂井町の魅力を再確認し、町外から足を運んでいただき垂井の良さを伝えたい。』とのコンセプトで、垂井町地域提案型活性化事業として計画され、特に、朝倉山真禅院の魅力(見晴らしの良さ等)を広めるため、境内に竹灯ろう(約3000個)を設置し、参加者自らが点灯して竹あかりを楽しむイベントが開催されました。

当会(愛する会)としても、真禅院の貴重な文化財を周知啓発していく良い機会として、ボランティア案内ガイドで参画しました。

境内は、自然の中で神秘的な雰囲気竹灯りが素晴らしいと約5000人の人々が訪れました。



【歴史文化教室(千之子ども教室)】

-「壬申の乱の関連史跡を訪ねて」

11月10日(金)

宮代小学校6年生 33名



恒例の千之子ども教室で、毎年6年生を対象に、宮代地区内に伝えられている「壬申の乱」にまつわる関連史跡を訪ねています。

最初に「美濃国一宮の南宮大社」を訪れ重要文化財の社殿などを見学、その後南宮大社の社家社僧の菩提寺である正行院を訪れ、住職から寺の由緒を説明頂いた。

その後、1350年前の「壬申の乱」時に、桑名から栗原山の麓を通り境野から森下地内に騎行してきたと言われる宮代古道沿いの大峯地区を訪れ、大海人皇子が腰かけた腰掛岩や兜を置いた兜掛石を訪れました。

また、乱の最中に大海人皇子が逃げ込んだ伝説の大杉跡の説明に耳を傾けました。

その後は、県下最大級の古代寺院跡の宮代廃寺跡を見学、瓦のかけらや三重塔の基礎石(心礎)の説明を受けました。

続いて、壬申の乱で多大な功績を認められ外従五位下を授けられ、

不破の大領となった宮勝木実を祀る大領神社を訪れ、「壬申の乱」の詳細を解説頂きました。



宮代小学校 150 周年記念事業
-校内樹木名表示-

11月1日(水)
宮代小学校6年生23名

宮代小学校が創立150周年を迎え、これに協賛して学校内の樹木を調査しその樹木の「科・種・和名(漢字表示)」を表示することとしました。

毎週水曜日に会員が集まり、プレート(木製板)にペンキで下塗り、その上に科名、樹木名、和名(漢字表示)の文字を転写して水性ペンキの黒色で手書きして手作りました。

11月1日の午後2時45分から、校舎前校歌石碑前で表示プレートの贈呈セレモニーを行うとともに、石碑横の「イロハモミジ」に6年生代表が取り付けました。

その後、生徒6年生(33名)が6チームに分かれ校内の樹木133本に



78個の表示プレートを、紐で吊るしたり地面に杭で打ち付けたりしました。生徒さんからも、校内の樹木の名前もあまり知らないしこれで木の名前も覚えられると喜ばれました。



【陣跡史跡の整備事業】

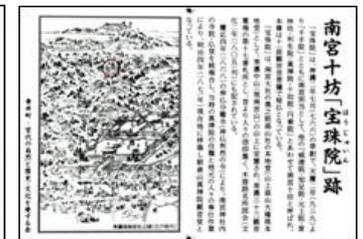
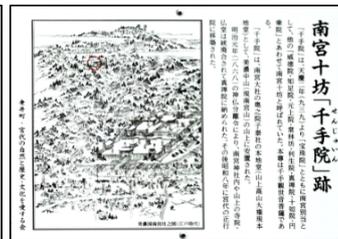
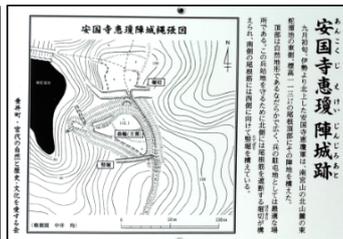
1月31日、2月14日、2月29日

-毛利・安国寺陣跡、宝珠院・千手院史跡の表示板設置-

町指定の「南宮山ハイキングコース」沿いに点在する「陣跡」と「史跡」を周知啓発するため、史跡や陣跡の説明表示板をコース沿いに設置しました。

陣跡は、南宮山展望台の毛利陣跡や東蛇池東方の安国寺陣跡に、それぞれ解説と縄張り図を表示しました。

史跡は、南宮山中腹にあった南宮十坊の宝珠院跡と千手院跡に解説を表示しました。



【陣跡史跡の整備事業】

南宮山ハイキングコース・陣跡史跡の点検整備

四半期に1回

昨年度(令和4年度)から、南宮山の登山道と山麓にある陣跡の点検整備を行なっています。南宮山ハイキングコースは展望台からの眺めも絶景で、年間1万人が訪れる人気の山でありコース登山道の点検整備は重要として実施し、軽微な補修と点検結果は町と観光協会に報告している。

また、「陣跡」は、旗棹や長旗の破損状況や草刈りも行ない、美観確保に努めている。



【歴史文化教室】

1月14日(日)

大領神社の「歩射祭(おびしゃ)」を解説

御歩射(おびしゃ)は、邪気を祓い今年の無病息災や五穀豊穡を祈る神事で、宮代中で開催されています。

歩射には、歩射(かちゆみ)と騎射(うまゆみ)があり、平安の頃より行われその起源はとても古いです。

大領神社では、1月14日の午後1時半に集合し、午後2時に歩射祭(おびしゃ)神事が始まります。

峯地区と森下地区が大的と弓矢を作る表講と餅や御供を作る裏講を隔年で受け持ちます。

各地区がそれらをもって行列を仕立てて大領神社に到着すると、神職が参向し神事が始まり、神職が広庭に降り、甲矢を天に向かって射、次に乙矢を大的に向かって射ます。

神事の終了後、歩射祭の解説書を参加者に配布して解説しました。



「南宮大社宝物殿」並びに「観光案内所」の来訪者1万人達成

来場者に記念品贈呈

令和6年1月21日(日)

愛知県大口町から土屋様ご夫婦で、関ヶ原の古戦場記念館を訪問後、南宮大社の案内標識を見て訪れたとのこと。

南宮大社上月宮司から記念品を贈呈後、宝物殿を見学して歴史の古さに感嘆されていました。



令和6年3月9日(土)午後來場

岐阜県瑞穂市から堀様ご夫婦と子3人で南宮大社にお参り時に案内所を訪問。

垂井町観光協会澤島会長から記念品贈呈を贈呈しました。思わぬ事で感激されていました。



宮代観光案内所・南宮大社宝物殿来訪者数

南宮山(毛利陣跡)登頂者数

令和4年4月~令和5年3月		(単位:人)				
月	観光案内所			宝物殿		
	月計	累計	対前年比	月計	累計	対前年比
4月	305	305	158.9%	295	295	86.8%
5月	408	713	131.6%	260	555	46.0%
6月	272	985	152.0%	275	830	69.6%
7月	250	1,235	131.6%	231	1,061	74.8%
8月	343	1,578	268.0%	296	1,357	135.8%
9月	233	1,811	前年度閉館	258	1,615	前年度閉館
10月	343	2,154	100.6%	302	1,917	70.4%
11月	289	2,443	103.2%	519	2,436	78.4%
12月	544	2,987	284.8%	138	2,574	72.3%
1月	155	3,142	88.1%	417	2,991	85.8%
2月	293	3,435	170.3%	288	3,279	125.8%
3月	456	3,891	190.0%	315	3,594	128.0%

令和4年4月~令和5年3月			
月	合計	前年度	対前年比
4月	1,007	1,021	0.99
5月	1,008	1,280	0.79
6月	699	782	0.89
7月	602	622	0.97
8月	600	684	0.88
9月	606	978	0.62
10月	988	1,509	0.65
11月	729	1,232	0.59
12月	552	670	0.82
1月	852	1,043	0.82
2月			
3月	1,193	814	1.47
合計	7,643	10,635	0.72